

学校行事への影響

1. 学校行事の実施状況

【遠足、運動会は9割以上、学芸会・音楽会、鑑賞教室は8割以上の小学校で行われている。展覧会、スポーツ大会は、ほとんどの小学校

で行っている県がある一方、半数以上の小学校で行っていない県もあるなど、都県別に実施している割合に大きな差がみられる。】

Q2. 月2回の週5日制導入後の、貴校での時間割や学校行事といった年間スケジュールの組み方についておたずねします。

D. 学校行事についておたずねします。あなたが主として指導している学年では、どのような学校行事を、年にどれくらい行っていますか。

小学校でどのような学校行事が年に何回程度行われているかについて、統計的にまとめた資料はあまり多くない。そこで、まずどのような学校行事が年に何回行われているかを図1-6と表1-2から確認しておくことにしよう。なお、質問文にあるように、回答者が主として指導している学年での学校行事の回数をまとめたものなので、以下のデータがそのまま個々の小学校の特徴をあらわしているとはいえないことを前もって断っておく。

①遠足

遠足は、全体では37.0%の小学校で年1回、47.1%の小学校で年2回、9.3%の小学校で年3回以上行っている。遠足をまったく行っていない小学校は4.8%にすぎない。所在地別には都県庁所在地よりも市部や郡部の小学校のほうが複数回行っている割合が10ポイント内外高くなっている。都県別にみると、岩手県、新潟県、東京都では半数以上の小学校で年1回しか行っていないのに対して、岡山県、福岡県、熊本県では半数以上が年2回、福岡県と熊本県にいたっては4分の1強の小学校で年3回以上行っているなど、都県によって遠足の実施回数に大きな違いがみられる。なお、図表にはまとめていないが、学年差をみ

てみると、6年生では他の学年より10ないし20ポイント程度複数回行っている小学校の割合が下がっている。これは後にみるように、高学年になると修学旅行・林間学校などに行く割合が高くなることと関係していると思われる。

②運動会

運動会は、全体では90.1%の小学校で年1回、3.2%の小学校で年2回行っている。運動会を行っていない小学校は6.1%だった。所在地別にみても都県別にみても、この傾向はだいたい当てはまるが、岡山県のみ年2回運動会を行っている小学校が9.7%と、他の都県より目立って高かった。

③学芸会・音楽会

学芸会・音楽会は、全体では69.9%の小学校で年1回、8.6%の小学校で年2回、1.6%の小学校で年3回以上行っている。学芸会・音楽会を行っていない小学校は14.7%だった。所在地別にはほとんど差はみられなかったが、新潟県と福岡県では20%以上の小学校で行っておらず、一方熊本県では21.2%の小学校で2回以上行っているなど、都県別にやや差がみられた。

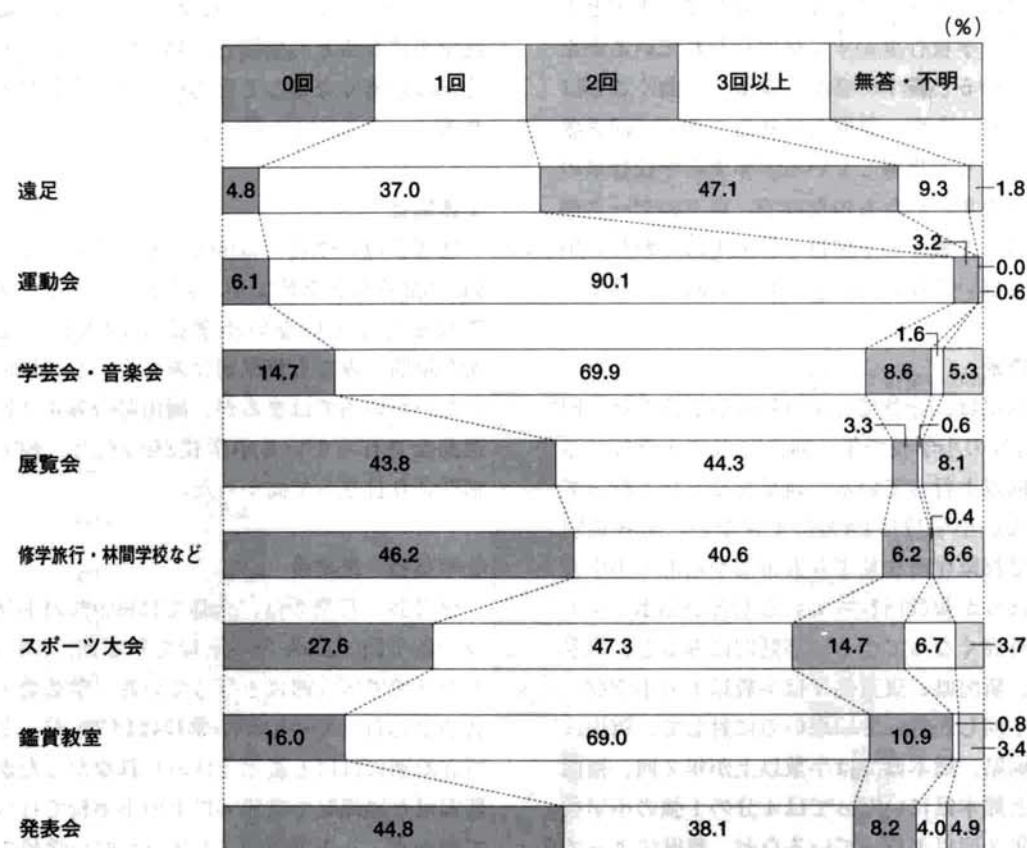
④ 展覧会

展覧会は、全体では44.3%の小学校で年1回、3.9%の小学校で年2回以上行っている一方、43.8%の小学校では行っていない。所在地別には、都県庁所在地の小学校のほうが市部や郡部の小学校よりも展覧会を行っている割合が10ポイント内外高くなっている。都県別にみると、新潟県では81.8%、東京都では59.8%の小学校で年1回展覧会を行っているが、その他の県では半数以下にとどまり、特に熊本県では年1回以上行っている小学校が20.6%しかない。また学年差をみると、3年生以下と4年生以上で違いがみられ、高学年のほうが低学年より10ポイント程度高く、年1回以上展覧会を行っている。

⑤ 修学旅行・林間学校など

修学旅行・林間学校などは、全体では40.6%の小学校で年1回、6.6%の小学校で年2回以上行っている一方、46.2%の小学校で行っていない。しかし、これは先にも述べたように回答者が主に指導している学年の違いの影響を受けている。表1-3から学年別にみると、4年生以下では、年1回以上修学旅行や林間学校などを行っている小学校は2、3割程度なのに対して、5、6年生では9割程度の小学校で年1回以上修学旅行や林間学校などを行っていることがわかる。このことをふまえた上で所在地別、都県別にみると、所在地別には目立った差はみられないが、都県別には、東京都の小学校で年2回以上行

図1-6 学校行事の実施状況



注) サンプル数は1161人。

表1-2 学校行事の実施状況(地域別)

(%)

	全体 (1161)	都県庁 所在地 (435)	その他 の市部 (358)	郡部 (365)	岩手県 (191)	新潟県 (203)	東京都 (184)	岡山県 (226)	福岡県 (181)	熊本県 (174)
遠足	0回	4.8	4.8	5.9	3.8	12.0	11.3	2.7	1.8	0.6
	1回	37.0	43.0	34.6	32.6	55.0	51.7	59.8	31.0	11.0
	2回	47.1	40.0	49.4	53.4	29.8	33.5	34.2	66.4	61.3
	3回以上	9.3	10.1	8.7	8.2	0.5	0.5	2.1	0.0	27.1
運動会	0回	6.1	6.4	5.9	5.5	3.7	7.4	6.0	5.8	6.6
	1回	90.1	91.0	90.2	89.3	93.2	90.1	92.4	84.5	92.3
	2回	3.2	2.1	3.4	4.4	1.0	1.5	1.1	9.7	1.1
	3回以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学芸会・音楽会	0回	14.7	14.7	14.5	15.1	6.3	29.6	7.1	10.2	22.1
	1回	69.9	72.0	70.7	66.6	79.1	62.1	71.7	76.5	64.1
	2回	8.6	3.0	9.5	14.2	9.4	3.4	1.6	11.5	8.8
	3回以上	1.6	1.2	0.8	2.8	0.5	1.5	0.0	0.4	3.3
展覧会	0回	43.8	34.0	48.6	51.0	46.1	13.8	16.3	60.6	54.7
	1回	44.3	50.3	41.1	39.7	41.9	81.8	59.8	31.0	30.4
	2回	3.3	3.7	2.5	3.6	3.1	1.5	1.1	3.5	9.4
	3回以上	0.6	0.5	0.6	0.8	0.5	0.0	0.0	0.8	0.6
修学旅行・林間学校など	0回	46.2	46.0	46.1	46.0	46.6	48.8	40.8	42.9	48.1
	1回	40.6	42.1	40.5	39.2	44.5	41.9	35.9	43.8	38.1
	2回	6.2	7.4	5.3	5.8	2.1	3.0	13.0	7.1	7.7
	3回以上	0.4	0.2	0.6	0.5	0.5	0.0	0.5	0.9	0.0
スポーツ大会	0回	27.6	40.2	23.7	16.4	19.9	21.7	42.4	37.2	21.5
	1回	47.3	44.8	46.4	51.5	46.6	60.6	42.9	42.9	57.5
	2回	14.7	7.6	17.3	20.5	20.4	12.8	8.2	12.4	13.3
	3回以上	6.7	2.5	9.5	8.5	9.3	3.0	0.0	3.5	5.5
鑑賞教室	0回	16.0	14.3	14.5	19.2	11.0	15.8	17.4	17.7	11.0
	1回	69.0	69.4	73.2	64.7	70.7	68.0	60.3	73.9	77.9
	2回	10.9	11.0	8.7	12.9	11.0	14.8	15.2	6.6	8.3
	3回以上	0.8	0.7	0.8	0.8	1.6	0.0	1.0	0.0	0.6
発表会	0回	44.8	44.8	41.6	47.7	40.8	47.3	30.4	49.6	44.2
	1回	38.1	40.9	39.4	33.7	24.1	38.4	52.7	37.2	40.9
	2回	8.2	6.0	8.9	9.9	22.5	4.4	6.5	7.1	5.0
	3回以上	4.0	3.0	4.2	5.2	8.4	3.5	3.2	2.6	5.6

注) () 内はサンプル数。

っている割合が13.5%と、他県より数ポイント以上高くなっていることが目につく。

⑥スポーツ大会

スポーツ大会は、全体では47.3%の小学校で年1回、14.7%の小学校で年2回、6.7%の小学校で年3回以上行っている一方、27.6%の小学校では行っていない。所在地別にみると、都県庁所在地の小学校よりも、市部の小学校のほうが17ポイント程度、郡部の小学校のほうが19ポイント程度、年に複数回行っている割合が高い。都県別にみられる差も顕著で、東京都では年1回以上行っている小学校がやっと半数を超える程度なのに対して、その他の県では3分の2ないし4分の3程度の小学校で年1回以上行っており、特に岩手県では年2回行っている小学校が20.4%で年3回以上が9.3%、熊本県にいたっては、年2回行っている小学校が21.8%で年3回以上が20.1%にも上っている。

⑦鑑賞教室

鑑賞教室は、全体では69.0%の小学校で年1回、11.7%の小学校で年2回以上行っている一方、16.0%の小学校では行っていない。所在地別には、やや郡部で年1回以上行っている割合が低い。都県別にみると、年1回以上行っている割合は、熊本県が73.0%、東京都が76.5%で、他の県が80%以上行っている

のに比べるとやや低い。

⑧発表会

発表会は、全体では38.1%の小学校で年1回、12.2%の小学校で年2回以上行っている一方、44.8%の小学校では行っていない。所在地別には、郡部の小学校が他の地域の小学校よりも行っていない割合が高い一方、複数回行っている割合も高いという特徴がみられる。都県別にみると、東京都が年1回以上行っている割合が60%以上と高いが、そのほとんどが年1回である。反対に一番低いのが熊本県で、年1回以上行っている割合がやっと40%を超える程度である。その他の県は年1回以上行っている割合が5割内外だが、その内訳には差がみられ、岩手県は複数回行っている割合が30%を超えている。なお、学年差もみられ、5、6年生が4年生以下よりも10ポイント程度高い割合で行っている。

⑨その他

上述の学校行事の他にどのような学校行事を行っているか自由記述をしてもらったところ、たとえば以下のような学校行事が挙げられていた。

交通安全教室、避難訓練、保健安全的行事、田植え、収穫祭、清掃作業、児童集会、歓迎会・お別れ会などの集会、社会科見学、祖父母参観。

表1-3 修学旅行・林間学校などの実施状況(学年別)

	(%)			
	0回	1回	2回	3回以上
1年生(147)	77.6	18.4	3.4	0.7
2年生(138)	80.4	15.9	3.6	0.0
3年生(134)	73.1	21.6	4.5	0.7
4年生(149)	64.4	28.9	6.7	0.0
5年生(167)	12.0	83.8	3.6	0.6
6年生(168)	8.9	75.6	14.9	0.6

注) () 内はサンプル数。

2. 学校行事の変化の様子

【半数以上の小学校が、学校行事を削減・統合したり、学校行事の準備時間を削減したり、学校行事を各教科の活動と統合・読み替えた

りして対応している一方、家庭訪問を中止・削減したり、道徳や学級活動の時間を削減したりした小学校は1割内外にとどまっている。】

Q2. 月2回の週5日制導入後の、貴校での時間割や学校行事といった年間スケジュールの組み方についておたずねします。

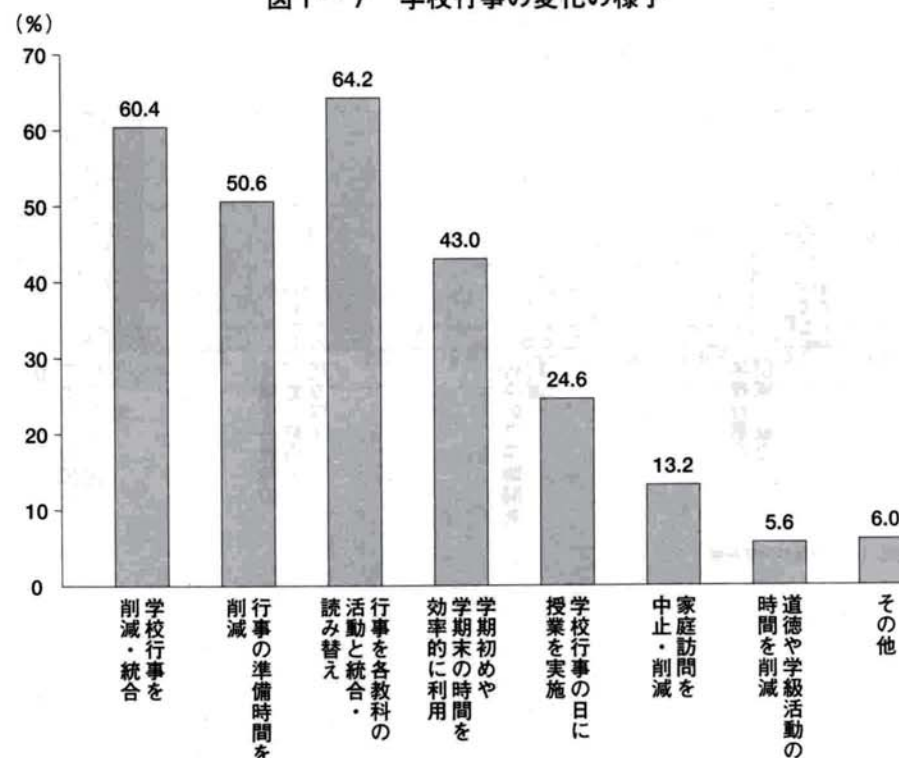
E. 特別活動や道徳について、ここ数年の変化の様子をおたずねします。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

では次に、実際に月2回週5日制の導入などの影響により、ここ数年で学校行事の行い方にどのような変化がみられたのか、その様子についてみていこう。

最初に全体からみると、図1-7のように、「学校行事を削減したり統合したりした」小学校が60.4%、「学校行事の準備時間を削減したり、放課後に行ったりした」小学校が50.6%、「学校行事を各教科の活動と統合し

たり、読み替えたりした」小学校が64.2%、「学期初めや学期末の時間を効率的に使うようにした」小学校が43.0%と、おおよそ半数の小学校が学校行事の精選や効率化を行ってきている。一方「家庭訪問をやめたり削減したりした」小学校は13.2%、「道徳や学級活動の時間を削減した」小学校は5.6%にとどまっている。

図1-7 学校行事の変化の様子



注) サンプル数は1161人。

図1-8から中学校での学校行事の変化の様子と比較してみよう。なお、中学校教員調査での質問項目とは質問文も項目数もやや異なるため、単純な比較はできないことを前もって断っておく。中学校では、多いほうから「行事の準備時間を削減」(64.7%)、「学校行事を削減・統合」(57.7%)、「学期初めや学期末の時間を効率的に利用」(52.3%)、「行事を各教科の活動と統合」(28.8%)となっており、変化のみられた主な項目は小学校と同じである。しかし、小学校で一番多かったのが「学校行事を各教科の活動と統合したり、読み替えたりした」の64.2%なのに対して、

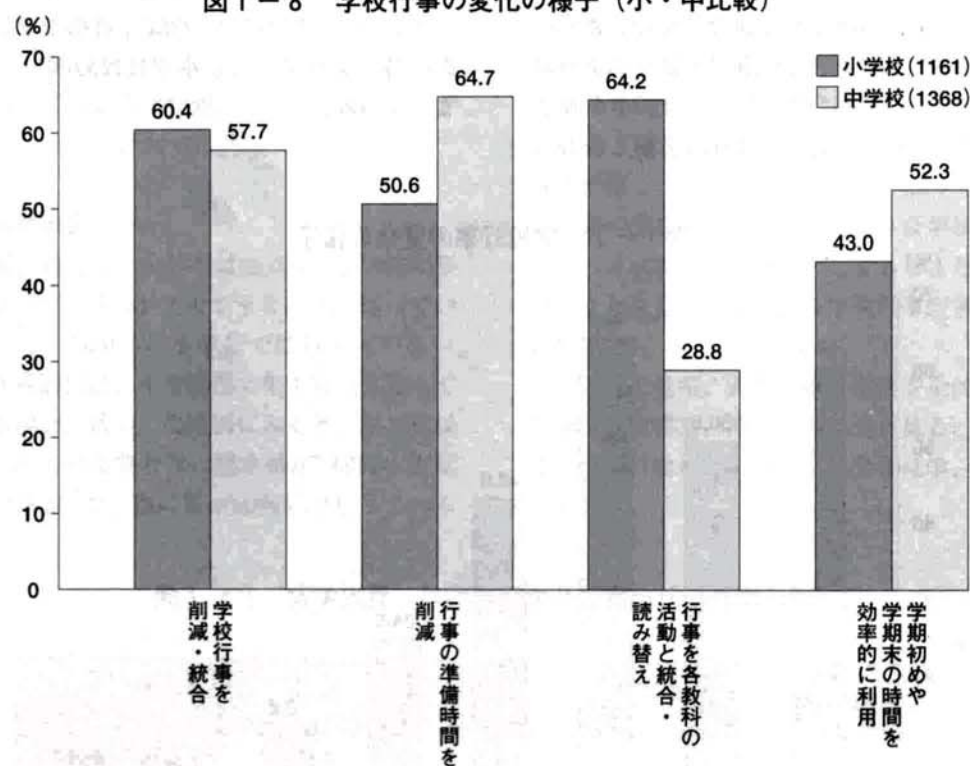
中学校でそれに対応する「行事を各教科の活動と統合」は28.8%にすぎず、反対に中学校で一番多かった「行事の準備時間を削減」は、小学校でそれに対応する「学校行事の準備時間を削減したり、放課後に行ったりした」が50.6%となっており、月2回週5日制の導入による、学校行事へのしわ寄せへの対応のしかたには、小学校と中学校とで若干違いがあることがわかる。

次に表1-4から所在地別にみると、「学校行事を削減したり統合したりした」小学校の割合が、市部や郡部のほうが都県庁所在地よりも約8ポイント高く、反対に「学期初め

や学期末の時間を効率的に使うようにした」と「家庭訪問をやめたり削減したりした」では、都県庁所在地の小学校のほうが市部や郡部よりも約9ポイント高かった。しかしこれらの差は、サンプルの偏りによって都県別にみられる差を反映したものと思われる。同じく表1-4から都県別にみていこう。「学校行事を削減したり統合したりした」割合は、岡山県でもっとも高く73.5%に上る一方、もっとも低い東京都では40.2%にとどまっている。その他の県では60%前後だった。「学校行事の準備時間を削減したり、放課後に行ったりした」割合は、ほとんどの都県が50%前

後だが、熊本県は36.2%と極端に低い。「学校行事を各教科の活動と統合したり、読み替えたりした」割合は、新潟県の76.4%、岩手県の69.1%がやや高く、その他の都県では60%前後だった。「学期初めや学期末の時間を効率的に使うようにした」割合は、もっとも高い東京都では59.2%なのに対して、新潟県と岡山県が40%台後半、岩手県、福岡県、熊本県が30%台と、都県による違いが顕著だった。「家庭訪問をやめたり削減したりした」割合も、東京都の29.9%に対して熊本県は2.3%と大きな差がみられた。

図1-8 学校行事の変化の様子(小・中比較)



注) () 内はサンプル数。

表1-4 学校行事の変化の様子(地域別)

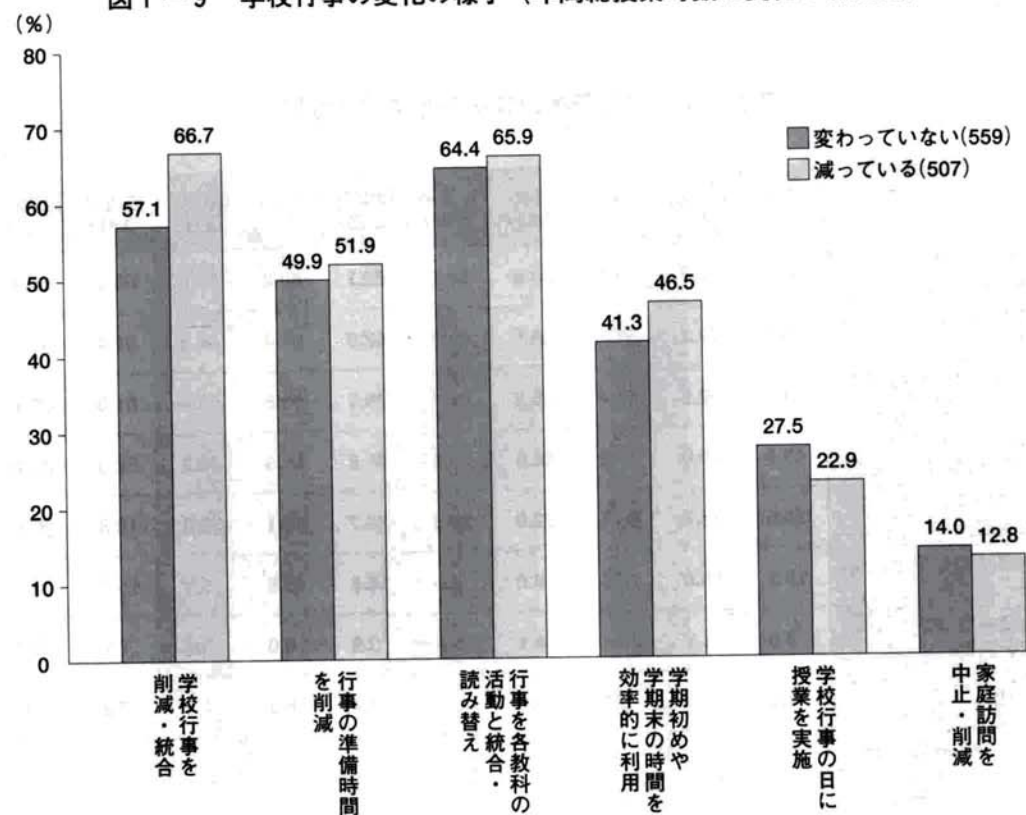
	全体 (1161)	都県庁 所在地 (435)	その他の 市部 (358)	郡部 (365)	岩手県 (191)	新潟県 (203)	東京都 (184)	岡山県 (226)	福岡県 (181)	熊本県 (174)
学校行事を削減・統合	60.4	55.6	63.1	63.6	58.1	62.1	40.2	73.5	60.8	64.9
行事の準備時間を削減	50.6	52.2	51.1	48.5	54.5	58.6	55.4	46.5	51.4	36.2
行事を各教科の活動と統合・読み替え	64.2	62.5	63.4	66.8	69.1	76.4	59.8	56.6	61.3	62.1
学期初めや学期末の時間を効率的に利用	43.0	49.0	38.8	40.0	35.6	45.8	59.2	48.2	32.0	35.1
学校行事の日に授業を実施	24.6	25.7	25.1	22.5	28.3	20.7	39.1	20.8	18.8	20.7
家庭訪問を中止・削減	13.2	18.9	10.1	9.6	8.9	18.2	29.9	5.3	15.5	2.3
道徳や学級活動の時間を削減	5.6	6.2	6.4	4.1	5.8	3.9	6.0	5.8	7.2	5.2
その他	6.0	5.7	6.7	5.8	6.8	7.4	6.5	4.4	7.2	4.0

注) () 内はサンプル数。

さらに、年間総授業時数を変えなかった小学校と減らした小学校とで学校行事の変化の様子に違いがあるかみてみよう。図1-9のように、「学校行事を削減したり統合したりした」小学校の割合で、授業時数を変えていない小学校が57.1%で、授業時数を減らした小学校が66.7%とやや大きな差がみられたが、その他の項目ではいずれも数ポイント程度の違いしかみられなかった。特に注目すべきは、年間総授業時数を変えなかった小学校が、そ

のために学校行事を大きく減らしているかというそうではなく、「学校行事の日に授業を行うようにした」「家庭訪問をやめたり削減したりした」以外の項目では、授業時数を減らした小学校のほうが、学校行事も統合したり効率化を図ったりして減らしている割合が高いということだろう。授業時数を減らした小学校は、学校行事も含めて、学校で行う諸活動を平均的に縮小することによって月2回週5日制に対応したと考えられる。

図1-9 学校行事の変化の様子（年間総授業時数の変化の有無別）



注) () 内はサンプル数。